

「クリスチャンの人生」

1. 本文説明

- ・キリスト教会内ではなく、この世でクリスチャンがどう判断していくのか、どう生活していくのかの問題—どんな価値観もあるというこの世の前提の中で。
- ・権威（政府かイエスか）＝平和とは何か？
- ・王をたてる（参考）
 - ・（Iサムエル 8 : 1 ~ 22）
 - ・（5節）どうか今、ほかのすべての国民のように、私たちにさばく王をたててください。
 - ・（ダニエル 2 : 21 4 : 17）
 - ・ただし、神は季節と時を変え、王を廃し、王を立て、知者には知恵を、理性あるものには知識を授けられる。それはいと高き方が人間の国を支配し、これをみこころにかなう者に与え、また人間の中の最もへりくだった者をその上に立てることを、生ける者が知るためでもある。
 - ・（使徒 5 : 29）
 - ・「人に従うより、神に従うべきです」
- ・倫理的判断（社会倫理）
 - ・デカルト（哲学者） 良心（方法序説）
 - ・アダム・スミス（経済学者） 共感＝市場
 - ※良心とか共感とか人間的なものも神が与えたという認識のもとにある例。
- ・聖書の信仰理解と日本人の宗教心理理解の違い---どちらの心で聖書を読むのか？
 - ・信仰をもらったら、この世に帰る。己を捨て、十字架を負い、イエスに従う。（聖書）
 - ・イエスがなぜ十字架の道を歩まれたのか
 - ・平安をもって極楽浄土（神の国）に行く。（日本的）
 - 2つのポイントの違い
 - ・悔い改め どちらがあるのか、ないのか
 - ・信仰の方向（下から上に、上から下に＝聖書は上から下を語る）

2. 本文（兄弟姉妹への問い）

- ・権威にしたがうとはなにか
- ・互いに愛し合いなさいという結論はなぜか

3. おわりに

- ・マタイ 10 : 16
 - 「ですから、蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。」
- ・私たちの信仰をマヒするものとは
 - ・この世の権威と聖書のいう権威